

糖尿病血液透析患者における FMD (Flow Mediated Dilation) の意義

長崎腎病院 長崎腎クリニック

○内田良太 田川秀明 飯野八朗 宮崎健一 李嘉明 橋口純一郎 船越哲
原田孝司

【背景】

FMD にて非侵襲に測定される血管内皮機能は、脂質との関連の報告は多数あるものの、糖尿病や糖尿病合併症の有無との関連は未だ不詳である。

【目的・方法】

対象は当院の血液透析患者 43 名（男性 22 名/女性 21 名、DM18 名/非 DM25 名、平均年齢 64.9 才、平均透析年数 8.5 年）で、これらの FMD と HbA1c、また糖尿病合併症との関連を調査する。

【結果】

% FMD は非糖尿病/糖尿病透析患者で $3.96 \pm 7.10 / 1.91 \pm 1.40$ と、糖尿病透析患者において有意に低値であった。糖尿病血液透析患者で HbA1c と %FMD の相関を見たところ、 $R=0.10$ と相関は得られなかったが、糖尿病合併症の程度との相関が認められた。

【考察】

糖尿病透析患者では、非糖尿病透析患者より血管内皮機能が障害されている。これには短期的な糖毒性以外の要因が関与していると思われる。